

## 建設トップランナー倶楽部 ジョイント企画実施要綱

1. 「建設トップランナー倶楽部」(以下「TRC」)が行政機関や民間団体と共同でシンポジウム・講演会・セミナー等を開催する際の基本的なルールを以下のように定める。

- 1) TRCがジョイント企画を受諾する場合、幹事の半数以上の同意を得る必要がある。
- 2) TRCがジョイント企画を実施する場合、個人に経済的な負担を掛けない。
- 3) TRCは、自己財源を持たないため、イベントにかかる開催費用等(準備費用を含む)は、原則としてパートナー側に負担してもらう。
- 4) TRCが提供するものは、建設トップランナーフォーラム(TRF、2009年12月解散)で培ったノウハウ、知名度、実績、ネットワーク、交渉、調整力などのソフト部門で、イベントの企画立案段階から積極的にかかわる。

2. パートナー側のメリット

- 1) 建設トップランナーフォーラムの知名度や実績などを生かすことで、イベントの認知度を高めることができる。
- 2) 地域建設業の複業化に関する質の高い情報を入手できる。
- 3) 特別講演、パネルディスカッション、事例発表の人选の手間が省ける。
- 4) 地方建設記者の会(全国の建設専門紙14社が加盟)のネットワークを生かし、イベントの開催記事を全国に情報発信できるとともに、事前の予告記事を配信してもらうことで集客の効果が上がる。
- 5) 過去のフォーラム参加者やメール配信希望者に開催案内メールを送付することにより集客効果が期待できる。(約2000社)
- 6) 過去のフォーラム開催実績・経験を企画や運営に生かすことができる。

3. 旅費支弁について

パートナー側は、TRCの「コラボレーション・リスト」=別紙 から特別講演、司会、事例発表、企業(過去のフォーラム参加社)、パネルリスト、コーディネーター等の派遣・出演を要請する場合、当該個人に交通費・宿泊費の実費を支弁するとともに、若干の謝金を支払うこととする。

以上